



早春の日高山脈



地に爪跡をいかに残すか

〜ついつい杯を重ねる反省の日々〜

着任して七ヶ月

ばかりです。

この地の常識

日高山脈の南西側の国有林約十四万鈔を管轄する日高南部森林管理署に着任して早七カ月。太平洋側は温暖で暖かいとの一般的な先入観を持っていた私にとつて、クールビズもクーラーも海水浴も全く無縁だったのは少々驚きでした。

馬…馬…馬…馬!

当署の管轄区域は、日高町、新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町の六町にまたがり、管内を走る国道二三五号は「優駿浪漫街道」の愛称で呼ばれており、車窓に広がるのは軽種馬牧場…馬…馬…馬…

この地の常識

彼らの晴れ舞台「競馬」は一部の方達の楽しみとばかり思っていました。日高管内では地域産業であり、住民生活にも深く密着、当然行政との係わりも大きく、地域の人たちとコミュニケーションを図る上でも、多種多様な「この地の常識」は必要です。

今年六月、浦河町役場には「祝・ディープスカイ日本ダービー優勝」、また、新ひだか町役場には「祝・ウオッカ安田記念優勝」という大きな垂れ幕が掲げられました。道外からのお客さんに紹

介するほど驚いたのは私くらいで、地元では全く常識的な事。

また、ウオッカという馬が昨年のダービー馬で、生産された牧場が署のすぐ近くにあることも…。

十月には道営競馬が門別競馬場で開催され、貸切バスの運行があり、盛況だったとのこと。地域の主要産業である軽種馬産業の活性化は重要な問題です。

国有林と牧場

一方、国有林野事業には隣接地が牧場というのは地域管理経営計画を立てる上で大変重要な事項です。



日高町植樹祭は、門別競馬場の隣接地で開催され、私もクワを持ち苗木を植え付けました。

これは、造材作業の実施時期が、馬の妊娠、出産などによって制約を受けるため、立木販売個所の立地条件が価格に大きく影響することになります。

第四次地域管理経営計画の樹立に向けて一日も早く常識を身につけねばと焦る気持ちとは裏腹に、アツという間に季節が替わってしまふスピードについていけないことに苛立ち、ついつい杯を重ねる毎日が反省の日々です。

日高南部森林管理署
署長 **花木健英**